

ハーミア 安心して、ヘレナ。あたし二度とあの人に会わないつもりよ。ライサンダーと一緒に姿を隠すの。

ライサンダー ヘレナ、君には何もかも打ち明けておこう。明日の夜、月の女神がその白銀を水鏡にうつし、草の葉に真珠の露を宿すころ、僕たちはアテネの城門を抜け出す手筈になっているのだ。

ハーミア
そしてあの森で、ほら、よくあなたと一緒に柔らかい花の褥に寝そべってお互いに心行くまで打ち明け話にふけたあの森で、あたしはライサンダーと落ち合ってアテネを背に、見知らぬ世界に旅立つのーさようなら、美しいヘレナ。あたし達のために祈って。あなたにも幸運が訪れて、めでたくデイミートリアスと結ばれますように！

ハーミアとライサンダー、互いの手をとりあい、去る
残るヘレナ

ヘレナ

人によって幸せがこうも違うとは！アテネ中であの人に劣らぬ器量よしと思われていた私。でもそれが何？デイミートリアスはそうは思ってくれないもの。そう、あの人はハーミアの目に惹かれている。恋すれば誰も目では見ない、心で見るの。だから翼をもったキューピッドはいつも盲に描かれている。それに恋の神様はちっとも分別がない。翼と盲、それこそ無鉄砲でせっかちな性質を表しているのだわ。恋の神様が子供だと言われるのはそのせい、だから始終見当違いな見立てばかりをたてる、……。そうだ、ハーミアが駆け落ちする事をあの人に知らせよう！そうすればあの人、あの人の行き復りの姿が垣間見ることが出来るわ！

ヘレナ、去る。